DO YOUR BEST

NO. １９６

介護福祉士

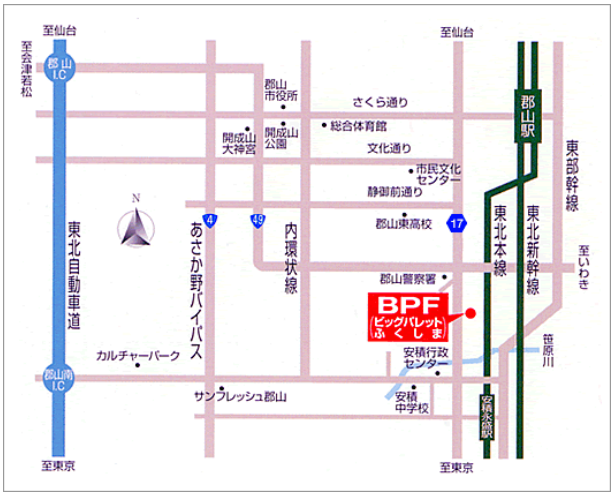
２０１９．３発行

一般社団法人
福島県介護福祉士会
文責　小山田　米子

『平成31年度　福島県介護福祉士会　定期総会のご案内について』

日　時　：　平成31年4月21日（日）12:30受付、13:00～16:00

場　所　：　ビッグパレットふくしま　3階　中会議室A



12:30　受　付
13:00　平成31年度　定期総会
14:30　ファーストステップ修了者発表
15:00　講演会
「震災から8年経過しての現状（仮題）」
全国市長会長　相馬市長　　立谷　秀清　氏
16:00　2020年全国大会・介護学会開催に向けて
16:30　閉　会

※返信用のハガキ必ず投函して下さい。
欠席の方も委任状提出して下さい。

一般社団法人　福島県介護福祉士会
〒９６３－０１０８　福島県郡山市笹川一丁目１８４－２９　クレストハイツ１８４　１０２号室
FAX　０２４－９４３－１８４８　E-Mail　jaccw_fukushima@ybb.ne.jp
ホームページ　http://www7b.ne.jp/~jaccw-fukushima/

【 平成30年度 倫理・防災委員会講演 報告】

倫理委員会・防災委員会

２月２日に福島県男女共生センターにおいて、定例の倫理委員会並びに防災委員会主催の「平成30年度 倫理・防災講演会」が催されました。今回は、49名の皆様にご参加を頂いています。日々、お忙しい中で多くの皆様にご参加を頂き、お礼申し上げます。
講演は午前10時から始まり、松本喜一先生を講師として「高齢者虐待防止法の理解とその対応について ～不適切なケアを減らすために～」をテーマに、法的な視点からみた高齢者虐待の現状とその予防、虐待への取り組みについてご講演を頂きました。児童虐待、DV、高齢者虐待と弱者に向けられた暴力が取りただされる昨今、実際にあった事例や個人情報保護法との関係なども踏まえながら、笑いも交え解りやすく教えて頂きました。
昼食は、それぞれの委員会委員が腕によりをかけて作った、カレーライスが振舞われました。次回の講演会もお楽しみに。
午後からは、東洋羽毛　柚木昭雄先生により「グッスリ眠って、気持ちの良い朝を！」とのテーマで睡眠セミナーが行われました。柚木先生は、数少ない睡眠健康指導士の資格を持っておられ、睡眠がいかに大切なものか、正しい睡眠とはについて、専門的な知見からお話を頂いています。結構、眼から鱗のお話を聞くことが出来て、私達の日頃の睡眠を見直す良い機会となったのではないかと思います。
最後の講義は、防災委員会委員自らが講師として「介護ボランティア入門 ～介護福祉士の専門性を生かして～」について、グループワークを交えながら、災害時における介護ボランティアの在り方と留意すべき点等についてお話しを頂きました。災害が頻発している今日において、私達介護の専門職が支援を行うにあたり、心得ておくべき点について学びました。災害時に、ボランティアとして支援に参加したいとの志を持つ介護福祉士は多くいると思います。その一方で、専門職としてどう関わればいいのかも問われます。この講義は、東日本大震災の時の自分達の話を振り返りながら、ボランティアとして参加する場合の心得を考えることができたと思います。
次回も、介護福祉士会会員の皆様のスキルアップや活躍に生かせる内容の講演会にしていきたいと考えています。ご意見やご希望があれば、各委員会にお知らせ下さい。

【県中方部お料理教室】

県中方部　小林　広子

特別養護老人ホームあたみホーム管理栄養士織田先生から「摂食嚥下連絡票について」お話しがありました。摂食嚥下連絡票は病院とケアマネージャーを始めとした専門職が情報共有するための地域連携ツールとして、「TKバランスチャートによる評価」を採用し使用されているもので、その中の評価の基準や食形態の評価と各嚥下食分類は万国共通であると教えて頂きました。その後高齢者の食事として「だまっこもち汁」「キャロットラペ」「カボチャのチーズまんじゅう」を日本調理専門学校藤沼先生の指導を受けながら、参加者で実習し、でき上った料理を食べました。素材の味が活かされておりどれも美味しく頂きました。

【県北方部施設見学会】

県北方部　吉田　和幸

10 月 25 日に、県北方部の研修として施設見学会を実施しました。今回は伊達市にあるハッピー愛ランドほばらさんにて開催しました。施設見学では内覧はもちろん、施設での行事や活動などの取り組みなどもお話し頂きました。

また、参加者との交流も兼ねて行い、自分達の職場の良い所だけでなく、上手くいってないことなども話し合い、色々な気づきや、たくさんの刺激をもらい、自分ももっと頑張ろうと思える、実りある施設見学会にすることができました。

今回ご協力頂きました、社会福祉法人北信福祉会ハッピー愛ランドほばらさんには本当にお世話になりました。

ありがとうございました。

【いわき方部、認知症研修会＆新年交流会開催】

いわき方部　根本　宇明

いわき市で評判のとんかつ屋さん「かつ丸」にて、認知症研修会＆新年交流会開催を開催しました。認知症研修会では、保坂さんが講師を務め、認知症の方とのコミュニケーションの基本「先ずは認知症の方の気持ちになってみる」をテーマに①「イエス・アンドゲーム」と②「ブックスゲーム」を全員参加で行いました。①「イエス・アンドゲーム」の内容は、一人が何かを提案したら、相手は否定せずに肯定でその提案に乗り、さらに自分の意見を付け加えていくゲームです。②「ブックスゲーム」は、スタッフ役の３人が仲良く話をしている中で、認知症役は手元にある本の中のセリフをひたすら抜粋して話す。というゲームです。2つとも簡単なゲームでありながら、相手の意見を受け入れる事の大切さと、認知症の方々が自分の思いとはかみ合わずに、無視される気持ちを実感できました。いわき方部では、この会を通じて改めてコミュニケーションの重みと大切さを再認識し、研修会の後

【いわき市在宅医療関連事業報告会に参加して】

いわき方部　保阪　靖彦

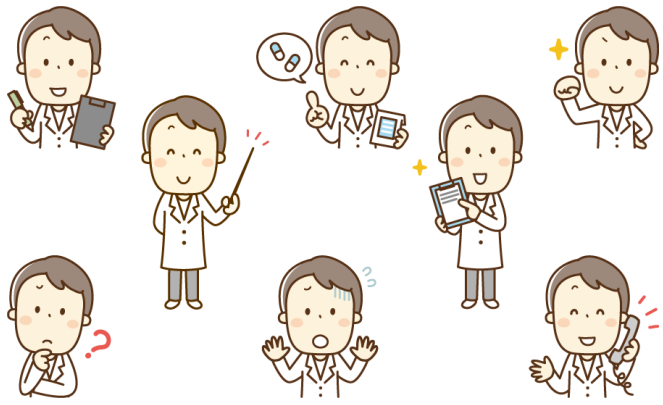
2019 年 1 月 24 日いわき市在宅医療関連事業報告会に介護福祉士会いわき方部 6 名で参加いたしました。いわき市医師会が中心となって地域の医療・福祉に関係する従事者を集めて、これからも顔の見える関係性を作って行きたいと熱気溢れる会合となりました。私達も介護分野で地域に貢献出来るように今後とも活動に参加して参ります。

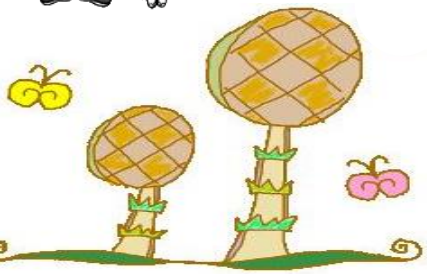
【会津方部勉強会を実施しました。】

会津方部　坂原　敦

11月17日（土）18：30から会津稽古堂において会津方部の勉強会を行いました。

今回は、管理薬剤師さんを講師にお招きし、薬についてのお話を伺いました。内容は、転倒のリスクのある薬について。私たち介護職は、入居者、利用者の転倒に十分に配慮していますが、完全に防ぐことは難しいところです。そこで転倒の原因リスクのうち、薬のはたらきにより転倒に至ってしまう可能性は？という疑問から、転倒を招いてしまう作用のある薬の代表的なものをお話しいただきました。私たちでも聞いたことのある身近な薬の話や、この薬が転倒を？なんてお話しもいただきました。入居者、利用者の多くは何かしらの薬を飲まれています。その中でどんな作用、副作用があるのか？など今後関心をもちながらケアに当たれればと思いました。





【福島県介護職員新任研修事業による介護技術研修】

県南方部　金澤靖子

昨年、12月に福島県介護職員新任職員研修事業を利用して、介護技術の研修会を塙町社会福祉協議会の職員を対象に実施しました。講師として、介護福祉士会より鈴木慎也先生と緑川慎一先生をお招きし、移乗介助並びに更衣介助の基礎から説明と実技指導を受けました。改めて基本事項を振り返ってみると、いつの間にか忘れてしまった基本的な事柄や、つい自分勝手に行っていた癖等を振り返るいい機会になりました。また、介護に関わる仕事について日の浅い職員には、介護技術の基本を学ぶきっかけとなり、日頃の業務に反映できる学びを得ることができた様子です。

また、お二人の説明が解りやすく丁寧で、研修会に参加した職員からも「優しくてよかった。」との感想が聞かれました。外部から先生を招くのも大変な折り、この事業を更に活用して、職員のスキルアップにつながればと感じました。お二人の先生と、事前打ち合わせに来て下さいました小山田会長に感謝申し上げます。

【平成30年度介護技術研究会参加者の声】

研修を受け思ったことは、今自分が行っている介護が経験則だけに沿った、型にはまっていたものであったという事でした。

利用者様本位になり、介助をする際の触れ方、介助の際の声の掛け方を具体的に、利用者様はもちろん介助者にも負担がない介助の仕方、ボディメカニクスの基本原則と、移乗内容を確認したうえでの介護技術の実践を、理解・体験することが出来ました。

【平成30年度　介護福祉士基本研修に参加して】

県中方部　佐久間　文彦

平成30年度介護福祉士基本研修が9月～11月にかけ全4回開催された。
この研修は現在研修中のファーストステップ研修を受講するための必須研修で、県内から多くの介護職の方が参加されていた。
内容としては
①求められる介護福祉士像、②自立支援の考え方、③介護技術指導法、④介護過程の展開等の項目があり、座学、グループワークを研修スタイルとし、参加した。
実際、管理職やリーダー職に就いている介護職の方もおり、有意義な研修となった。

①求められる介護福祉士像では多様化・高齢化する介護ニーズの把握、倫理などを学んだ。
②自立支援の考え方では利用者本位の考え、利用者選択の考え、役割等を学んだ。
③介護技術指導では利用者の理解、基本動作、ボディメカニクス等を、実技を通し学んだ。
④介護過程の展開では実際のケースをグループで担当し、ケアの立案（計画）等を学んだ。
研修を振り返り、介護福祉士には求められるものがあり、それを的確に援助していくことが重要で、その背景には、アセスメント、介護技術、コミュニケーション等がある。
今回の研修で、今一度自分の介護福祉士像を振り返り、目指す方向性や、将来の介護のビジョンを明確にし、介護のスペシャリストを目指していきたい。

いんふぉめーしょん

【31年度　サービス提供責任者研修　開催します。】

日時：31年7月9日（火）～全6日間
場所：郡山市中央公民館

参加募集しております。

【県中方部勉強会】

5月開催予定
テーマ：高齢者が多く使用する薬剤について（仮）

詳細は決まり次第、追ってお知らせします。

【いわき方部会】

日時：31年3月15日（金）午後7時～
場所：中央台公民館

【倫理委員会より】

昨年の事ですが、私の母がかかりつけ医に受診した時の話です。
普段は付き添う事はないのですが、その時はあまりにも具合が悪く、私が付き添い、点滴を受けました。母が点滴を受けている間、主治医と主任看護師とで情報共有をしていたところ、母を「ちゃん」付けで呼んでいたのです。私がキョトンとしていたのがわかったのか、先生たちも「さん」に呼び直したのですが・・・80歳半ばの母が、地域の診療所で親しみを込めて呼ばれていたのでしょうが、自分の親が「ちゃん」付けで呼ばれていたら、どう思いますか？

知られざる秘湯【いわき編】

いわき市の山間に佇む、高野鉱泉の一軒宿、常磐自動車道、三和インターより車で10分程の所にある入の元湯「神泉亭」。いわき市出身の詩人、草野心平ゆかりの宿でもあります。庭園を見ながら、大きな岩を使って造られた岩風呂でとても心地良い時間を過ごせます。滑らかなお湯で「肌にしっとりとお肌ツルツル湯ったり美人の湯」の謳い文句のとおり、入浴後のお肌は、しっとりツルツルでした。是非足を運んでみて下さい。入湯料は540円でした。

編集後記

とうとう平成30年度、最後の広報になりました。いつもと変わらず、広報委員一同せっせと記事の作成に勤しんでいます。気が付けば、“平成”の元号を使って広報を作るのもあとわずかとなりました。新しい年度、新しい紀元へと時の流れがうつろい行くなかで、介護の職場、介護福祉士の皆さんも新しい風景、新しい風を作り出す為に、毎日、努力を重ねておられるでのはないでしょうか。お疲れ様です。新年度4月からも、皆様からの情報を心待ちにしております。加えて、今年度も多くの会員の皆様から、面白い記事、興味深い記事、盛り沢山記事を沢山お送りいただきました。ここに広報委員一同、あらためて感謝申し上げます。